

【実際の医療的ケアの内容】

ケアの頻度	定期2回・・・(昼食前、おやつ前) インシュリン注入 不定期・・・1～4回くらい(低血糖、 高血糖、ポンプの異常時)	実施者	看護師 保育者 その他
医療的ケア時の場所	保健室	準備物	インシュリンポンプ物品
		<p>インシュリンポンプを確認、作動する時は、他の園児の目のふれないように、保健室や、人のいない場所で行う。</p> <p>4歳発症なので、インシュリンポンプのしくみをやや理解しているため、協力して情報を話してくれる。低血糖時にはポンプのアラームが鳴るので、保健室にきて指示の糖分を摂取している。</p>	

【特に配慮を工夫した保育活動】

活動内容	プールでの水遊び	援助者	保育者 看護師 その他
場所	園庭プール	準備物	インシュリンポンプ、消毒
		<p>園内プールでの活動の際は、インシュリンポンプを外して活動をする。腕にモニターはつけているので、外れないようにテープでしっかり固定する。入る前は血糖値と園児の体調を確認する。安定していればそのまま外して、プールに入る。でたあとは、ポンプをとりつける。一時的にインシュリンが入らなくなるので、高血糖などにも注意して見守る。</p> <p>園外プール(市営の大プール)の際は、一緒に同行して、プールに入り、保育士の補助(他の園児の面倒もみる)を行う。対象園児の、高血糖、低血糖などの体調を観察する。</p>	

【ケア会議（園内カンファレンス等）の実施と職員間の共有】

ケア会議参加者	主治医、園長、保育士担任、園看護師3名
頻度	発症時初めてインシュリンポンプを使用開始時1回のみ
共有の仕方	職員全体に園看護師から説明し、全職員で協力、共有する。
<p>・確認している事項 インシュリンポンプ使用時に、異状が起きた場合、アラームがなるので、その場合、看護師に報告、確認、対応してもらう。</p> <p>活動時に、低血糖症状が確認されたときは、園児を動かさずに座らせて、看護師を呼び、対応してもらう。</p> <p>・実施にあたっての留意点など 会議時は、他の職員、園児、保護者は入れず、会議で決まったら、報告する。</p>	